



A1 レベル: 基本的な単語と簡単な文の作成

- 目標: 日常的な事柄について、ごく簡単な語句を用いて表現できる。
- 課題の焦点: 単語の知識、主語・述語を中心とした簡単な短文の構成能力。

課題

画像を見て、以下の質問にひらがなとカタカナで答えましょう。(漢字の使用は不要)

1. この動物は何ですか。

評価のポイント

正しい単語(犬、いぬ)を使えているか。

2. 犬は何色ですか。

評価のポイント

正しい単語(ちゃいろ、オレンジ、アプリコット、あかなど)を使えているか。

3. 犬はどこにいますか。

評価のポイント

正しい場所の表現(公園、芝生、庭など)を使えているか。

課題

画像の犬について、知っている言葉を使って2つの短い文を書きましょう。

評価のポイント

1. 主語と述語のある正しい文(「いぬは かわいいです。」「いぬは しばふに います。」など)を構成できているか。
2. 正しい単語(犬、いぬ)を使えているか。
3. 正しい単語(茶色、オレンジ、アプリコット、赤など)を使えているか。
4. 正しい場所の表現(公園、芝生、庭など)を使えているか。

A2 レベル: よく使う表現や簡単な情報交換

- 目標: 身近で個人的に関連性の高い事柄について、簡単な情報交換ができる。
- 課題の焦点: 過去・現在の表現、簡単な形容詞の使用、短いまとまりのある文章構成。

課題

1. あなたがこの犬の飼い主だと想像してください。この犬が昨日、この場所で何をしたかについて、3つの文で書きましょう。
2. 友達にこの写真を見せながら、この犬について30～50字程度で紹介するメールを書きましょう。

評価のポイント

1. 時制(～ている)や簡単な助詞を正確に使えているか。
2. 「とても」「ちょっと」などの副詞を使えているか。
3. 3～4 文程度の短い文章を構成できているか。
4. 過去形(～ました、～た)を正しく使えているか。
5. 簡単な動詞(走る、遊ぶ、座るなど)を適切に使えているか。

B1 レベル: 具体的な話題について筋道を立てて意見を述べる

- 目標: 自分の興味のある分野や身近なテーマについて、ある程度まとまりのある文章を作成できる。
- 課題の焦点: 理由・意見を述べる表現、接続詞を用いた文章の連結、多様な語彙の使用。

課題

1. この写真を見て、あなたは犬を飼うことについてどう思いますか。「犬を飼うことのメリットとデメリット」というテーマで、80～120 字程度の文章を書きましょう。
2. この犬が次にどこへ行って、何をしたいと思っているか、その理由を想像して 3 段落で書きましょう。

評価のポイント

1. 理由(～から、～ので)や比較(～より)の表現を使えているか。接続詞(しかし、また、例えば)を用いて論理的な流れを作れているか。
2. 抽象的な語彙(癒やし、責任感など)を使えているか。
3. 推量・願望の表現(～だろう、～たい)を適切に使えているか。
4. 段落構成ができているか。犬の心情を表す多様な表現を使えているか。

B2 レベル: 幅広い話題について詳細な説明や論証を行う

- 目標: 自分の専門分野だけでなく、幅広い話題について詳細な説明や論証を、明確で適切な構造を持つ文章で展開できる。
- 課題の焦点: 複雑な構文の使用、高度な語彙、論理的で説得力のある文章構成。

課題

「ペットとしての犬の存在は、人間の生活の質にどのように影響するか」というテーマで、この写真から読み取れる感情や状況を導入として、180～220 字程度の文章を書きましょう。

内容

この写真の犬が、もし迷子になったと仮定します。あなたはどのような問題点を想定し、その問題解決のために具体的に何をするかを、3 つの段階に分けて説明しましょう。

評価のポイント

1. 複雑な構文(～にもかかわらず、～といった、～とされる)を適切に使えているか。高度な語彙(QOL、精神的安定、共生など)を使えているか。
2. 論理的で説得力のある論述を展開できているか。
3. 仮定表現(～としたら、～とすれば)を使えているか。
4. 問題解決の手順を明確な構造で示しているか。
5. 専門的・社会的な語彙(マイクロチップ、掲示板、搜索活動など)を適切に使えているか。
